

## 2023年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東武鉄道株式会社
---------	----------

本年度整備費	6,668 百万円
--------	-----------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホーム柵（可動式）	4 駅 8 番線	五反野、谷塚、草加(緩行線)、新田
ホーム柵（固定式）	3 駅 6 番線	新柏、鎌ヶ谷、馬込沢
エレベーター	1 駅 1 基	おもちゃのまち
エスカレーター	3 駅 6 基	新田、運河、新鎌ヶ谷
内方線付点状ブロック	5 駅 17 番線	杉戸高野台、南栗橋、新栃木、おもちゃのまち、森林公園
段差隙間縮小に資する設備	7 駅 16 番線	五反野、谷塚、草加(緩行線)、新田、新越谷、北越谷、志木
バリアフリートイレ	- 駅 - ヶ所	
運行情報提供設備 (発車案内表示器)	7 駅 7 ヶ所	浅草、鷺宮、花崎、南羽生、野田市、清水公園、七里
その他	備考欄参照	駅
備考	誘導ブロック:71駅(曳舟、亀戸、ふじみ野 他) 音響案内装置:3駅(東向島、牛田、川越市)等	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホーム柵（可動式）設置番線数・段差解消駅数		
ホーム柵（可動式）設置番線数	8	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	1 駅
	二経路以上確保駅	- 駅

本年度徴収額	5,846 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額 (百万円)	2,816	3,030	-
備考			

本年度までの累計整備費	10,063 百万円
本年度までの累計徴収額	5,991 百万円

2023年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	25 駅	64 番線	西新井(継)、谷塚(継)、草加(継)、新田(新)、蒲生(新) 他	3,427 百万円
ホーム柵 (固定式)	4 駅	8 番線	新柏(継)、鎌ヶ谷(新)、馬込沢(新)、塚田(新)	464 百万円
エレベーター	2 駅	5 基	おもちゃのまち(継)、朝霞台(新)	306 百万円
エスカレーター※2	3 駅	6 基	新田(新)、運河(新)、新鎌ヶ谷(新)	4 百万円
内方線付点状ブロック	5 駅	17 番線	杉戸高野台(新)、南栗橋(新)、新栃木(新)、おもちゃのまち(新)、森林公園(新)	177 百万円
段差隙間縮小に資する設備	7 駅	16 番線	新越谷(継)、志木(新) 他	23 百万円
バリアフリートイレ	- 駅	- ヶ所		- 百万円
運行情報提供設備 (発車案内表示器)	8 駅	8 ヶ所	鷲宮(新)、花崎(新)、野田市(新) 他	186 百万円
その他 ※3	備考欄参照 駅			166 百万円
備考	※2 音響案内装置新設 ※3 誘導ブロック:71駅 音響案内装置:3駅 等			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	- 駅	- 番線		- 百万円
エレベーター	75 駅	152 基	北越谷(継)、板倉東洋大前(継)、鎌ヶ谷(新) 他	170 百万円
エスカレーター	32 駅	103 基	谷塚(新)、新越谷(継)、川越(継) 他	407 百万円
車両	- 編成	- 両	-	- 百万円
その他 ※4	備考欄参照 駅			895 百万円
備考	※4 運行情報表示器(発車案内表示器):5駅 トイレリニューアル:9カ所 二段手摺化・段鼻の改修:12駅 非常通報装置:82駅 等			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費		426 百万円※5		
収受システム改修費		- 百万円		
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		17 百万円		
備考	※5 ホーム柵 (可動式)・エレベーター・エスカレーターのメンテナンス 等			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2025年度までの計画）

年度	ホーム柵（可動式）設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	0%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	0%
2023年度	8番線	26%	1駅	100%	1駅	0%
2024年度	10番線	60%	0駅	100%	1駅	0%
2025年度	12番線	100%	0駅	100%	1駅	0%
累計	30番線	100%	1駅	100%	1駅	0%

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2035年度までの計画）

年度	ホーム柵（可動式）設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	91番線	100%	一駅	-	一駅	-
2027年度						
2028年度						
2029年度						
2030年度						
2031年度						
2032年度						
2033年度						
2034年度						
2035年度						
累計	91番線	100%	一駅	-	一駅	-

※計画進捗率は、計画期間における設置番線数（段差解消駅数）の累計/計画期間における設置番線数（段差解消駅数）により算出すること

## ホーム柵（可動式）整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
-	-	-	- 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。